

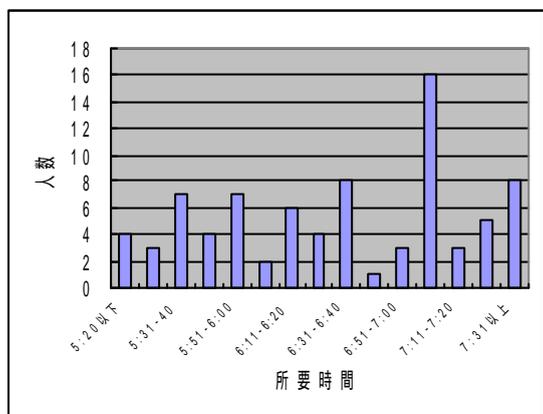
センチュリーラン終了

第17回センチュリーラン埼玉は5月12日(日)吉見運動公園を主会場として開催された。7時15分から開会式が行われ、開会挨拶、矢作実技責任者から走行上の諸注意がおこなわれた。7時30分からセンチュリーが1分間隔10人、7時45分からはハーフセンチュリーランが2分間隔10人がスタートし、8時16分に全員スタートが終了した。朝から天気がよく、午後には気温も上昇し、参加者には苦しい戦いとなった。

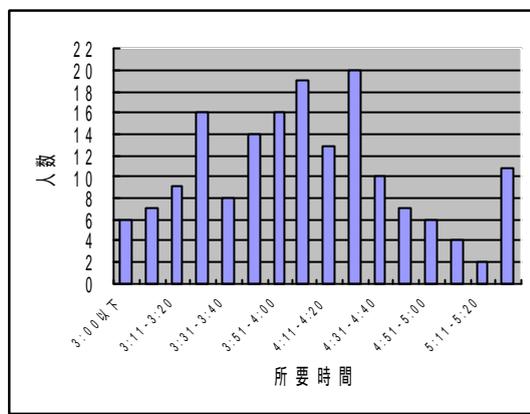
今回は自損事故1件があったが、それ以外のトラブルはなくどうか大会を終了することができた。これは役員の方々のきめ細かい管理のほか、参加者の協力があってこそ出来るものである。

役員の方々の皆さまご苦労さまでした。参加者の皆さまお疲れさまでした。

センチュリー到着分布



ハーフセンチュリー到着分布



薫風のサイクリング

5月12日センチュリーラン埼玉に参加しました。昨日までの雨もあがり絶好のサイクリング日和となりました。7時30分センチュリーがスタートしました。

ハーフ参加の私は7時45分のスタートでした。第1CP(チェックポイント)の高野橋を過ぎて早俣橋を渡る。ここまでの平均時速は29km/hでした。信号待ちとチェックポイントの通過に休憩時間を計算すると25km/hの平均時速が必要になります。太郎右工門橋を渡り桶川市川田谷から北上尾経由で羽貫へ向かいます。この区間は市街地走行なのでポタリング気分?で走ります。羽貫を抜けると視界が開けます。ペースを上げて久喜に向かいます。狭い道路と縁石に注意が必要です。

第2CP久喜から東北自動車沿いを羽生に向かいます。慣れた人とのグループ走行や単独でも実力さえあれば35km/h以上の走りが出る高速走行可能な20km区間です。荒れた路面と車に注意が必要です。30km/h~32km/hのスピードで走る。105回転前後を継続して体力を抑える。

第3CP羽生からは埼玉用水路沿いを行田へ向かいます。整備された道路は走り易い。吹き抜ける風が火照った体を冷やしてくれる。

第4CPの行田サイクリングセンターに入る。ペダルを外す足に痙攣が走る。ここまで70kmを走り疲れがたまっている。長い休憩は体を冷やすので小休止してから武蔵水路沿いを鴻巣に向かいました。荒れた路面と狭い道路です。車に注意しながら走ります。スピードメータは25km/hを表示している。疲れた体にタイヤが粘り付くように重く感じる。足の負担を減らす為に軽めのギヤを回す。スピードが上がらない。前も後ろも自転車は見えない。ゴールを目指して一人でひた走る。

熊谷バイパスをくぐり抜ける宮前本田の信号を過ぎると糠田橋を渡ります。ペダルを回す足が重い。軽めのギヤでペダルを回す。止まりたくなるのを堪えて坂を登る。走るのを止めようかな?そんな気持ちになるくらい疲れている。

いつもは楽な糠田橋をやっとの思いで渡り86kmを走りました。今回が初めての参加でした。無事故で走ることを念頭の目標にしました。機会がありましたら又参加したいと考えています。

追)大会関係者の皆さまお疲れさまでした。ありがとうございました。楽しく走ることができました。
大澤 功(SCA会員)

親子ふれあいサイクリング終わる

第4回親子ふれあいサイクリングが6月2日(日)、大宮双輪場を主会場として230名余りが参加して開催された。チャレンジトラックは1周500mのトラックを子供は1周、大人は2周し、そのタイムを計測する。トライアルサイクルゲームは乗車技術をチェックする。サイクリングは見沼田んぼを走るもので、各自種目を選択して参加できる複合サイクリング大会である。

10時から各種目がスタート、チャレンジザトラックでは大人も子供も自己への挑戦に満足した様子であった。サイクルゲームでは悪路走行でつまずく者が多かった。サイクリングは好天に恵まれ、リーダーの引率に従って走り見沼の自然を肌で感じた。午後3時には全ての種目が終了し、閉会式ではチャレンジザトラック優秀者の表彰などがあり大会は滞りなく終了した。運営にあたり、ご支援戴いたテレビ埼玉、大宮双輪場、(財)日本サイクリング協会にお礼申し上げる。

6月9日(日)午後7時~8時、テレビ埼玉で当大会の様子が放映された。

[チャレンジザトラック優秀者](敬称略)

小学生低学年の部		中学生(男子)の部	
1. 石崎 智祐	1分01秒44	1. 平野 裕起	1分40秒26
2. 半藤 眞美	1分03秒04	2. 半藤 優司	1分40秒27
3. 半藤 隆仁	1分03秒16	3. 時任 崇聡	2分00秒81
4. 平井 拓哉	1分04秒12	中学生(女子)の部	*規定表彰人数に満たないため参考記録
5. 吉岡 大輝	1分07秒91	1. 谷口 美沙	2分11秒79
6. 時任 邦聡	1分09秒31	2. 西本 彩乃	2分26秒77
小学生高学年(男子)の部		一般(男子)の部	
1. 細谷 渉	53秒00	1. 高山 一也	1分26秒55
2. 岡崎 拓	59秒45	2. 高岡 明比呂	1分26秒82
3. 菅野 俊	1分00秒20	3. 半藤 厚司	1分27秒98
小学生高学年(女子)の部		一般(女子)の部	
1. 豊田 菜々子	58秒20	1. 松垣 弘子	1分55秒07
2. 東田 香月	1分00秒33	2. 山口 富士美	2分07秒31
3. 菅原 美佐恵	1分02秒71	3. 濱田 陽子	2分10秒41

<インフォメーション>

埼玉県昨年も自転車事故死亡ワースト1

5月の自転車安全教育推進委員会の席上、埼玉県警から埼玉県が平成13年度も82人が自転車事故で亡くなり平成7年から(10年は2位)ワースト1の記録を更新し続けているとの報告があった。まったく恥ずかしい話だ。ちなみに13年度の2位愛知63人、3位大阪54人、4位東京53人、5位千葉47人となっている。82人の内一時不停止14人と17.1%を示している。年齢別では高齢者(65歳以上)42人、60-64歳5人、50歳代16人となっている。会員諸氏には無縁の話と願うが、安全教育の必要性があらためて浮き彫りになった。

第23回SCAクラブラリー・交流サイクリング

サイクリスト相互の交流・交歓を目的として企画されるものです。

期 日 平成14年8月17日(土)~18日(日)

宿 泊 「六日町:小海ハウス」

日 程 8/17:13時 第一集合、13時30分~ 交流サイクリング、18時 交歓会 8/18:8時 朝食・解散

費 用 5,000円

定 員 30名

申 込 7月16日(火)までに、事務局か小海さんまで会費を添えて申し込む

第14回インターナショナルチャレンジサイクリング<ツール・ド・秩父>

期 日 平成14年9月7日(土)~8日(日)

コ ー ス リゾートコース(50km)、ファミリーコース(30km)

定 員 リゾートコース 1,300人、ファミリーコース 200人

会 費 リゾート:一般 5,000円、ファミリー:一般 3,000円

申込締切 8月8日(木) 定員になり次第締め切ります。

そ の 他 詳細は、要項かSCAホームページをご覧ください。なお前回参加者には要項が発送されます。会員で要項希望の方は協会事務局まで連絡下さい(会員外の方は返信用封筒(80円切手を貼って)を同封して下さい)。

第38回関東甲信越ブロックサイクリング

日 時 平成14年9月23日(日)~24日(月)

と ころ 山中湖・河口湖

宿 泊 ホテル湖南荘

コ ー ス A:健脚向き, B:一般向き

参 加 料 JCA会員 15,000円 一般 17,000円 小学生以下 10,000円(1泊2食、記念品、傷害保険)

申 込 平成14年6月10日~7月20日

事務局だより

7月から事務局が移転になりました。

夏期期間中(7月~8月)の事務取扱いは原則として毎週火・木曜日10時~16時、土曜は不規則開局です。

また8月3日~15日は夏期休みとなります。来局の時は事前に電話にて確認して下さい。

大会等の問い合わせで事務局不在のときは留守番電話、FAX、E-mailをご利用下さい。

《編集後記》

会館廃館という難題で日夜奮闘したが、結局移転ということで決着がついた。問題はまだ山積みだ!